

# 令和6年度 成績概要書

課題コード（研究区分）： 3109-328541 （経常（各部）研究）

## 1. 研究課題名と成果の要約

- 1) 研究成果名：GAP導入による効果と導入推進に向けた対応策  
（研究課題名：GAPの導入に伴う経済的な効果と負担への対応策）
- 2) キーワード：GAP、モチベーショングラフ、効果、負担、対応策
- 3) 成果の要約：GAP認証に対するモチベーションが高い経営において、GAP認証の目的である「生産実績PDCAの実行」や「販売先の信頼向上」等が高く評価されていた。GAP認証の増加は、経営主のモチベーションを踏まえて負担を確認した上で、対応策を確立することで可能となる。

## 2. 研究機関名

- 1) 代表機関・部・グループ・役職・担当者名：  
中央農業試験場・農業システム部・農業システムグループ・主査・山田洋文
- 2) 共同研究機関（協力機関）：（上川農業改良普及センター、網走農業改良普及センター）

## 3. 研究期間：令和4～6年度（2022～2024年度）

## 4. 研究概要

### 1) 研究の背景

本道におけるGAP（Good Agricultural Practices：農業生産工程管理）認証の増加には、新規認証事例や更新事例において、新たに生じる作業や費用等の負担に応じた対応策を確立することが重要である。

### 2) 研究の目的

GAP認証の現状と課題及びGAP認証によるモチベーションの変化からみた効果を明らかにするとともに、GAP認証に伴う負担への対応策と確立方法を提示する。

## 5. 研究内容

### 1) GAP認証の現状と課題（R4年度）

- ・ねらい：GAP認証の現状と課題について、公表資料及び関係機関への聞き取り調査により明らかにする。
- ・試験項目等：調査対象 農林水産省、北海道農政部等の公表資料、関係機関への聞き取り調査  
調査項目 GAP認証件数、認証件数の増加に向けて指摘されている課題等

### 2) GAP認証によるモチベーションの変化からみた効果（R4～5年度）

- ・ねらい：GAP認証によるモチベーションの変化からみた効果を明らかにする。
- ・試験項目等：調査対象経営 個別認証経営（米：3戸、たまねぎ：3戸）、団体認証経営（同左）、計12戸  
調査項目 経営主に対するモチベーショングラフを用いたモチベーションの変化  
（GAPの「認証を思い立った日」から「現在」に至るモチベーションの変化）  
農場経営管理、食品安全、労働安全、環境保全並びに人権保護に関する項目について、GAP認証前後の達成度合いに係る点数評価

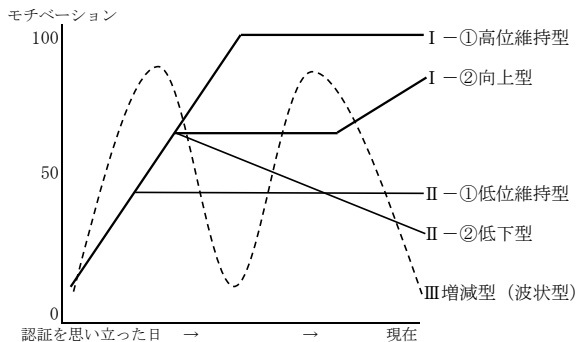
### 3) GAP認証に伴う負担への対応策と確立方法（R5～6年度）

- ・ねらい：上記5. 2)におけるモチベーションの変化を踏まえて類型化した経営を念頭に、GAP認証による画期に着目して負担を確認し、対応策（新規認証、更新）と確立方法を提示する。
- ・試験項目等：GAP認証による負担（作業、費用）と対応策  
新規認証・更新時：調査結果に基づく対応策、更新時：調査事例に基づく対応策の確立方法

## 6. 研究成果

- 1-1) 令和6年における本道のJGAP認証件数は285件（全国5,054件）、ASIAGAP認証件数は38件（全国1,931件）であった。本道では、青果物、穀物並びに畜産に係る認証が確認された（データ略）。
- 1-2) 認証増加に向けて、GAPの認知度の向上、新規認証・更新に向けた作業・費用負担の低減、経済的なインセンティブの向上等の課題が指摘されており、これらへの対応策の確立が望まれている。
- 2-1) GAP認証による経営主のモチベーションの変化は、高位維持型、向上型、低位維持型、低下型並びに増減型（波状型）が確認され、モチベーショングラフを用いてこれらが把握できた（図1）。
- 2-2) GAP認証による効果は、モチベーションが高位維持・向上している類型Iでは、多くの評価項目で、平均値を上回る効果が認められており、特に、GAP認証の目的でもある「生産実績PDCAの実行」、「販売先の信頼向上」並びに「在庫管理」等が高く評価されている（表1）。一方で、モチベーションが低位維持・低下している類型IIでは、こうした経済的な効果を認めておらず、評価が低下した。
- 3-1) GAPの新規認証に当たっては、GAPに関する知識の習得や各種必要施設・備品の購入、審査対応が必要となり、これらに係る費用負担が生じる（表2）。そのため、各種費用負担の低減対策や農業関係機関の支援が重要である。特に、団体認証による認証負担の低減は、GAP導入時の負担を低減させる。
- 3-2) GAP認証の更新に当たっての負担への対応策の確立方法について、「II-②低下型」経営を事例に実施手順を整理した（図2）。モチベーションが低下している現在には、審査や事務作業への対応が必要となり、事務の定型化や団体認証における事務局機能の強化といった対応策が必要となる。以上のとおり、モチベーショングラフを活用し、経営主の負担を確認した上で、対応策を確立することが重要である。

＜具体的データ＞



注1) 類型・作物・認証方法別の経営体数は、以下のとおり。  
 I-① 米団体：2戸、たまねぎ団体：2戸・個別2戸  
 I-② 米団体：1戸・個別：1戸  
 II-① 米個別：1戸  
 II-② 米個別：1戸、たまねぎ団体：1戸  
 III たまねぎ個別：1戸  
 注2) 各類型について概念図を示しているため、経過時間は一致しない。モチベーション低下の主要因は、更新とその対応や想定した販売先が確保できない場合等である。

表1 モチベーションの類型別にみたGAP認証による効果

	平均値	モチベーションの類型 <sup>注1)</sup>		
		I	II	III <sup>注3)</sup>
種苗の適切な使用、知的財産の保護・活用	4.4	4.9	3.0	4.0
農場 生産実績PDCAの実行	4.4	4.5	4.0	4.0
単収の増加	2.7	2.6	3.0	2.0
経営 品質の向上	2.8	2.8	3.0	2.0
管理 販売単価の増加	3.1	3.1	3.0	2.0
販路の確保・拡大	3.6	3.8	3.3	2.0
販売先の信頼向上	4.3	4.4	4.0	5.0
在庫管理	4.6	4.9	4.0	5.0
安食 リスク低減・排除対策	4.5	4.6	4.0	5.0
全品 水源の確認	4.5	4.6	4.3	4.0
安労 救急箱の設置、事故対応手順の構築	4.8	4.9	4.7	5.0
全働 農作業事故の減少	3.6	4.0	2.7	4.0
環境 適正な土壌管理	4.1	4.3	3.7	4.0
保全 GHG削減に資する取組み	3.7	3.8	3.7	4.0
肥料の使用量減	3.8	4.1	3.0	3.0
農薬の使用量減	4.2	4.3	4.0	3.0
人権 人材の確保	3.0	3.0	3.0	3.0
保護 責任感の向上	3.9	4.1	3.3	5.0
意識疎通の向上	4.4	4.5	4.0	5.0
評価の適正化	4.3	4.5	3.7	4.0

注1) 「モチベーションの類型」は、図1に示す類型のとおり。  
 注2) 点数は認証前後における各項目について、「かなり改善」を5点、「改善」を4点、「やや改善」を3点、「変化なし」を2点、「悪化」を1点とした段階評価に基づく。  
 注3) モチベーション類型IIIの経営は1戸のため、参考値として表記した。平均値にも含まない。

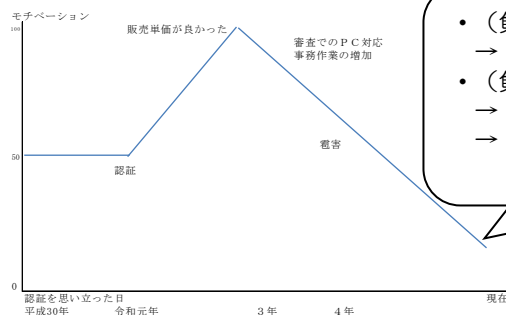
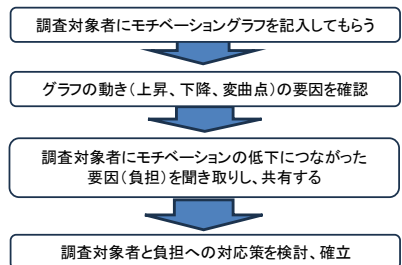
図1 調査対象経営におけるGAP認証によるモチベーションの変化

表2 GAPの新規認証・更新に当たっての負担への対応策

	必要となる作業	必要となる費用	対応策
新規認証時 (認証準備期)	<ul style="list-style-type: none"> <li>GAPに関する知識（基準書等）の習得</li> <li>肥料・農薬庫、簡易トイレ、休憩室、救急箱、消火器等の設置</li> <li>熱中症対策</li> <li>審査対応（書類整理、水質検査、残留農薬検査、審査員への対応等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GAPの知識習得に係る費用</li> <li>各種施設の設置、備品等の購入に係る費用</li> <li>エアコン等の設置費用、飲料等の購入費用</li> <li>審査費用、各種検査費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種費用の低減対策</li> <li>中古品、代替品の利用可否の検討</li> <li>中古品、代替品の利用可否の検討</li> <li>団体認証の事務局機能の強化</li> <li>農業関係機関の支援</li> </ul>
更新時 (認証後)	<ul style="list-style-type: none"> <li>審査対応（審査員への対応、各種検査等）</li> <li>審査時のパソコン対応</li> <li>熱中症対策</li> <li>従業員が変わった際のGAPに関する再教育</li> <li>日々の作業履歴、データ入力・記録、資料整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更新費用、各種検査費用</li> <li>パソコンの更新</li> <li>エアコン等の設置費用、飲料等の購入費用</li> <li>GAPに関する再教育に係る費用</li> <li>スマートフォン、パソコンソフト等の購入費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「負担への対価を期待しない」こと</li> <li>各種費用の低減対策</li> <li>事務の定型化</li> <li>団体認証の事務局機能の強化</li> <li>農業関係機関の支援</li> <li>中古品、代替品の利用可否の検討</li> <li>中古品、代替品の利用可否の検討</li> <li>期待しすぎずに、粘り強く実施</li> <li>中古品、代替品の利用可否の検討</li> </ul>

注) 調査対象経営12戸の調査結果に基づいて作成。

【モチベーショングラフを用いた対応策の確立方法】



・（負担）審査でのPC対応  
 →（対応策）PC操作に慣れる  
 ・（負担）事務作業の増加  
 →（対応策）事務の定型化  
 →（対応策）団体認証における事務局機能の強化を求める

図2 GAP認証の更新に当たっての負担への対応策（調査事例（II-②低下型）に基づく確立方法）

【用語説明】モチベーショングラフ：調査対象者において何かの構想段階から現在に至るまでの、モチベーションの変化をその要因とともに整理し、直面する問題を支援者等と共有する手法。調査対象者と支援者が初対面であっても、モチベーションの変化に起因する問題の共有が可能になる。

7. 成果の活用策

1) 成果の活用面と留意点

- （1）本成果は、農業関係機関（JAや農業改良普及センター等）が、農業者のGAP認証（新規認証、更新）に際し、経営主のモチベーションを踏まえて負担を確認した上で、対応策を確立する場面で活用する。
  - （2）本成果は、米及びたまねぎを生産する個別認証または団体認証を受けた農業者への調査結果に基づく。
- 2) 残された問題とその対応 なし

8. 研究成果の発表等 なし